

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和3年5月18日（火）9：00～9：40

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、小多係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 塩月本部長代理

安全・核セキュリティ統括部 奥田部長 他2名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、標準応答スペクトルの取り入れに係る対応及びバックエンド対策監視チームの今後の予定について説明があった。

規制庁からは以下の点を指摘した。

- ・標準応答スペクトルの規制への取り入れについて、これに伴う規則改正に対応した許認可申請の際には、現行の申請と規則改正に対応した申請をあわせて審査することとなる。申請内容は、各施設の担当者と相談すること。
- ・バックエンド対策監視チームについて、今後は定期的に会合を開催することとし、今年度中に合計2回したい。1回目は、前回会合以降の機構における取組の進捗状況を確認し、2回目は、廃止措置及び放射性廃棄物の処分に向けて個別の課題を整理していくための今後の取組について、を議題としたい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 配付資料

なし

以上